

もっと見ろ。事も無げに。

構成・演出 伊藤拓也

わたしたちは、あたかも事も無げに日々を過ごす。

しかしあなたたちは、「事も無げに」を、いつまで続けるのか。

自分の「事」に寄り添わない人は、共に「事」に寄り添える人を探す。

だからわたしたちは、誰かをじっと見つめたりする。

見つめられるのは苦手なくせに、じっと誰かを見つめたがる。

2015年 2月27日(金)19時 28日(土)14時 *開場は開演の30分前

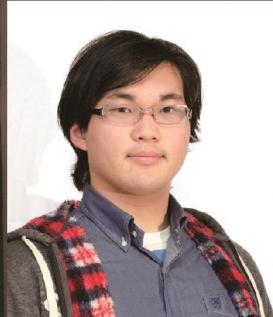
仙台市宮城野区文化センター パトナシアター

(仙台市宮城野区五輪二丁目一二番七〇号)



出演

新井郁



演劇の表現の自由さに触発されたのがきっかけで大学から演劇を始める。東北大學学友会演劇部所属。プラスなことをマイナスなことの10倍考えるよう心掛けており、自分の欠点すら活かせるような役者を目指して活動中。はじめまして、新井郁です。自分の持ち味は元気です。ただビビリな部分もあり、よく足元を見る事がありますが、今回の舞台ではそんな自分をとことん突き詰めていきたいと思います！

黒川春子



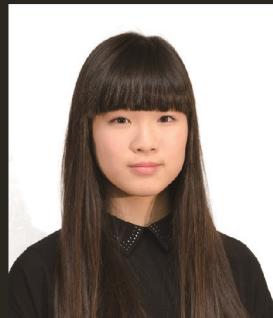
岩切で自分自身の選択で一人暮らしをする。家族・娘・息子・孫二人とげんきでそれぞれ生活を営んでいる。年をとりすぎました。趣味は麻雀。習い事は社交ダンス、民謡、詩吟、芝居、などなど。時間を潰しております。元気だ元気だとお題目のようにして暮らしておりますが、日に日に体の機能、精神的な衰えが目に見て感じる。恐ろしくは無いが、寝たきりにだけはなりたくない。ピンピンコロリと死ぬことを強く願って生きている。

斎木良太



1978年生まれ、神奈川県横須賀市出身。1998年、大学進学をきっかけに仙台へ移住。2002年から2006年まで仙台の劇団、三角フラスコに参加。2004年から2009年まで10-BOX国際演劇学校に参加。2010年から一時活動休止。2011年の東日本大震災では仙台市内陸部の自宅アパートが全壊し、避難所の運営責任者を経験した。震災後の表現者たちとの交流を通して自身の活動も再開、現在までフリーの俳優として演劇やパフォーマンス作品等に演出している。

齋藤朱海



小さい頃から人前に出ることに憧れを持ち、小学4年生でAZ9ジュニア・アクターズに入団。現在は劇団ひまわりに所属。映画「SUNFLOWER 向日葵」、舞台「鶴姫の子どもたち」で主演。部活はミュージカルに所属。特技は歌。大切にしているものは言葉。今までに多くの作品を経験し、尊敬する先生方や仲間、家族からの言葉をノートに書き集め、いつも心がけている。将来は人の心を驚きに出来るような女優を目指し活動中。

佐藤波瑠



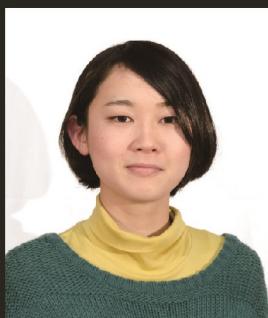
中学3年生、15歳。4歳から11歳までクラシックバレエを経験、12歳で劇団ひまわりに入団。好きなフレーズは『自分に正直に。やりたいことに全力を尽す。』今までの演劇活動を通して大切にしなければいけないと思ったことは、『相手を利用しても、相手が利用しやすい演技を演る』。作品は出演者が全員で協力し合わなければいいモノになります。そのため、『相手をより感じる』ことが大切だと思いました。

吉田健一



昭和46年6月4日宮城県生まれ。大学卒業後多数の舞台に出演。舞台と映画を中心に表現活動を行っている。テレビ「八代將軍吉宗」NHK、映画「菊次郎の夏」、舞台「ローラーハリケーン」、「ヴェニスの商人」などに出演。マラソンに取り組んでいる。特技はメダカの飼育と水槽洗い。売れない役者更新中。性格は穏和。目立ちたい気持ちと恥ずかしい気持ち持ち合せ大きくなります。

渡辺千賀子



中学生の時に俳優として演じることの楽しさを知り、高校から演劇部に所属。まだまだ演劇を勉強したいと思い、大学入学とともに仙台に。大学の演劇サークルでの活動以外にも、若伊達プロジェクトプロデュース企画などに出演。三角フラスコ『花鉄』『指先から少し血が流れ始めた』に俳優として参加後、2014年4月に三角フラスコへ入団。

<スタッフ> 舞台スタッフ・ラボ2014 「発展・創作コース」受講者

出演者の生活の断片を題材にしながら、人を見つめる事について考察します。人を見つめる事と、人に見つめられる事に焦点を当てながら、わたしたちの生活の中に、人と人が寄り添えあえるような時間を見出します。小さな断片の集積が、一つの舞台の上で、どのような輝きを見せるのか。人、音、光、物、それぞれの可能性を活かしながら、一つの舞台作品を創作します。

料金

前売・当日 1500円
高校生以下 500円

チケット取り扱い

【専用ページ】<https://ticket.corich.jp/apply/62428/>
【メール】cttsendai@gmail.com
【せんだい演劇工房10-BOX】
仙台市若林区御町2丁目2-12-9 TEL: 022-782-7510
窓口販売のみ: 9:00-21:00
【電話】090-3755-8878 (コハマ)

問合せ

電話 090-3755-8878 (コハマ)
メール cttsendai@gmail.com
HP <http://takutakuf.wix.com/mottomiro>

伊藤拓也プロフィール

大阪府吹田市在住。演出家。昨今は「味覚鍛錬の会」、「演劇概論を読む」、「9割音楽について話す時間」、「平日は妻と英語」などの自主企画を手の届く範囲で行い、劇の在り処を探る。自室にて樽状樹の育成を楽しむ。2007年度若手演出家コンクール優秀賞受賞。京都芸術センター舞台芸術賞2009ノミネート、F/T10公募プログラム参加。利賀演劇人コンクール2013参加。

C.T.T.sendai

2010年4月に『仙台という街で、多くの表現者が観客と共に舞台表現を探る場を充実させる』ことを目的にC.T.T.sendai事務局が発足。今まで「C.T.T.試演会」「月いちWS」をはじめ様々な企画を行い、創作環境を整えている。

舞台スタッフ・ラボ

仙台市・(公財)仙台市民文化事業団が主催する「劇都仙台」育成事業の一つ。今年度は、小道具部門を新設した計6部門の「基礎コース」と、本公演に向けてのスタッフワークを体験する「発展・創作コース」の2コースを設けており、講座を通じて「創るアトリエ(せんだい演劇工房10-BOX)から上演する劇場(宮城野区文化センター パトナシアター)へ」という創作の流れそのものを体験する。

【期間】

2015年2月6日(金)~2月18日(水) 基礎コース
2015年2月14日(土)~2月28日(土) 発展・創作コース

『劇都仙台』オフィシャルwebサイト:
<http://www.gekito.jp/>

主催 C.T.T. sendai

協力 劇団ひまわり

三角フラスコ

シニア劇団まんざら

せんだい演劇工房10-BOX

仙台市宮城野区文化センター

東北大學学友会演劇部

若伊達プロジェクト

制作 C.T.T. sendai 石塚理絵